

人権学習事業

アニメ映画上映とトークショー

12月3日(水)～9日(火)の障害者週間と、12月4日(木)～10日(水)の人権週間に際し、12月7日(日)に女性総合センター・アームで次の事業を行います(車椅子席有り)。

アニメ映画「明日の希望」

時 午前9時15分開場、午前10時上映開始

実在した高江常男氏が、少年時代に度重なる事故で片目と両腕を失いながら努力を重ねて新聞記者となり、その後現在も500人もの障害者の就業を受け入れるクリーニング工場を開くまでの生涯を描いた物語(字幕、音声ガイド付)。

●申し込み方法 11月10日(月)から電話かファクス(「映画会参加希望」、氏名とフリガナ・年代・ファクス番号と、車椅子で参加の方は「電動」「手動」のいずれか、介助者をお連れの方は「介助」と書いて)で生涯学習推進センターへ。

(528)6872
Fax (528)6804

トークショー

時 午後0時15分開場、午後1時講演開始
Eテレで放送中のバラエティー番組



「バリバラ」でMCを務める山本シユウ氏(ラジオオパーソナリティー)と玉木幸則氏(障害者であり障害者総合相談支援センター長)を招いて、障害者の感じるバリア・健常者の気づかないバリアなどについて、楽しくお聞きします。笑いでバリアを吹き飛ばそう！来場者を巻き込んでのトークもあり!?

(要約筆記、磁気テープ有り)

●申し込み方法 11月20日(木)「必着」までに往復はがき(「トークショー参加希望」、住所・氏名とフリガナ・年代・電話またはファクス番号と、車椅子で参加の方は「電動」「手動」のいずれか、介助者をお連れの方は「介助」、磁気テープ利用の方は「磁気」と書いて)で、生涯学習推進センター「〒190-0012立川市曙町2-36-2」へ。市ホームページの「電子申請サービス」からも申込み可(528)6872

第8回

たちかわ市民講師フェアを開催

様々な分野で専門的な知識や技能を持つ生涯学習市民リーダーによる「たちかわ市民講師フェア」を女性総合センター・健康サロンで開催します。ご来場いただき、学習グループや地域のイベントなどの際にお役に立てる方をぜひ見つけてください。企画・運営は生涯学習市民リーダーの会。直接会場へお越しください。

作品展

11月22日(土)～27日(木)の午前10時～午後5時(ただし、27日は午後4時まで)。油彩画、水彩画、篆刻など10人の方の作品を展示。

ミニ体験・実演コーナー

11月22日(土)～24日(休)の午前10時～午後4時(ただし、22日は午後2時から)。日替わりでハンコ、祝い箸袋、サンタクロースの置物などの作成体験(申込順、要実費)。水墨画の実演も。

体験教室

12月13日(土)の午前10時30分～午後4時45分。身体調整法、養生気功、ボディーパーカッションの体験とオカリナ演奏会。
◆問い合わせ 生涯学習推進センター
☎(528)6872

立川市の歴史と文化財

25

中世の 供養塔・板碑

立川市歴史民俗資料館の常設展示室に入り、原始コーナーを過ぎると、展示室に入って最初に目に飛び込んでくる国宝・六面石幢のレプリカと同じ緑色をした板石が3枚展示されています。

これは板碑と呼ばれる、鎌倉時代初期に始まり、中期から室町時代にかけて盛んに造られた中世独特の石造供養塔です。供養塔とは、死者の追善や生前の供養のために建てられたものです。埼玉県秩父地方で切り出された緑泥片岩という暗緑色の石が用いられており、その色から別名青石塔婆とも呼ばれています。普濟寺の

国宝・六面石幢と同じ材質です。

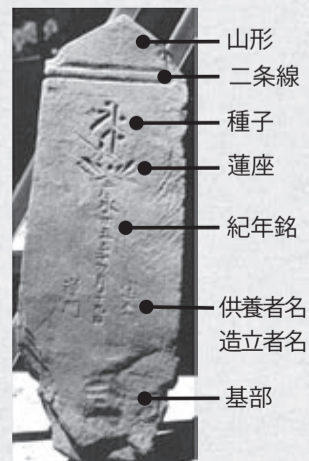
当初は武士や僧侶など特権階級の人々に限って造立されましたが、時代が下ると、性格が多様化されるとともに、一般庶民の間にも広まっていきました。墓地や寺、辻など様々な場所に建てられていたようです。

板碑には、供養の対象となる仏の存在が不可欠です。仏は、種子と呼ばれる古代インド語の文字である梵字や、仏の画像が刻まれます。そしてその下には、寺に安置されている仏様が蓮の花を台座にしているのと同様に、蓮座が刻まれています。なお、阿弥陀は、立川を含む多摩地域や関東では最も多く用いられた仏です。仏を据えた下には、造立もしくは供養年月日と、

造立者の名前、場合によってはお経の一部や供養の言葉も加わります。この部分によって、造立者の意図や願いが分かる場合があります。

写真は明治14年(1881)に普濟寺の首塚付近から出土した63枚のうちの1枚です。阿弥陀を表す梵字の下には、蓮座が、さらにその下には応永二十五年(1418)卯月十九日年という日付と、日付の左右には造立者もしくは供養者の名前「道全禪門」が刻まれています。基部は土に埋めるため、造立時は絶対に見えませんでした。従って、つくりが粗雑になっています。

中世立川にも、人が暮らしたを営んでいた証拠となる文化財・板



碑。立川には、平成7年の火災で罹災してしまった市指定有形文化財である普濟寺の板碑を含めた80枚あまりの存在が確認されています。中世人が自分の、そして亡き人の供養を願って建てたものです。歴史民俗資料館常設展示室には、本来建つべき場所での役割を終えた板碑が3枚、並んでいます。また、同じく中世の文化財である「銅鉦鼓」を11月30日(日)まで公開しています。歴史民俗資料館まで足を運んでみませんか。